

第22号

○発行年月日

平成25年1月7日

○発行

社会福祉法人

安房広域福祉会

〒294-0231

千葉県館山市中里288-1

☎0470-28-2422

FAX 0470-28-2424

にじのかけはし



心豊かに

目を閉じて

ゆっくり呼吸する

すべての人の

笑顔を思い

穏やかで快よく

すべての人が

自分らしく心豊かに

前を向いて進んでいきたい

新たな光をあびて

この幕明けと共に



中里ふれあい祭

支援員 田村 秀樹

毎年恒例行事のひとつ「中里ふれあい祭」を好天に恵まれ11月3日(土)に開催しました。ここ数年同日に開催していますので、「11月3日は中里ふれあい祭だ」と皆様に思っていただけけるようになったのではないかと思います。

今年のふれあい祭では、初めての試みとして♡型の風船を準備し、また石焼き芋を2種類(安納芋・紅あずま)取り入れました。



▲大盛況!!



▲何…食べようかな?

♡型の風船は子供たちに喜ばれ、2種類の石焼き芋は多くの皆さんに堪能していただくことができました。その他の模擬店では、ラーメン・チャーシュー丼・からあげ・焼き鳥・ハンバーガーと大にぎわい、来場者の皆様は目移りしたのではないかと思います。

館山市立第三中学校吹奏楽部による演奏は、午前と午後の2部制で演奏をお願いし、ご来場下さっ



▲素敵な演奏♪

た大勢の方々に喜んでいただけました。

また、中里ふれあい祭名物といえば保護者会による物産販売・バザーではないでしょうか。今年もお赤飯や水産物等の販売・バザーと、保護者会の皆様のご協力で大盛況でした。

おかげさまで多くの方々にご来場いただき、秋の一日をみなさん楽しく過ごしていただけたことと思います。また来年も皆様にお会いできることを楽しみにしています。



▲何が当たるだろう?

ふれあい祭売上報告
236,790 円

バザー売上報告
191,633 円

す。「ご来場、誠にありがとうございました。」

アートセラピーの効果は!! 支援員 福原 諒

中里の家では6月からアートセラピーを取り入れています。

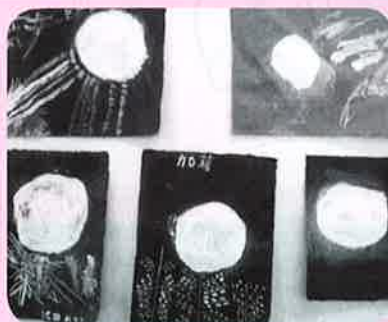
アートセラピーは感性を高め、同時に右脳を活性化し、集中力が強化されると共に心身のバランスが取れ、「認知症の予防」、「ストレスの緩和」が見込めます。

これを踏まえ中里の利用者の方にも、アートセラピーを体験して頂き、普段の日常生活では体験できない世界を知って頂くことで、ストレスの緩和等につなげていければいいと思います。

現在は月に一度講師の方をお招きし、利用者の方10名で活動し、



▲「月」作成中!!



▲力作ぞろいです

またできるだけ多くの利用者の方に体験して頂くため、毎回数名ずつメンバーを変更して取り組んでいます。

実際体験して頂くと、利用者の方も楽しまれている様子が見え、また「次回の活動ではどんなことをするのか?」と笑顔で訪ねてくる方もいます。

活動を開始して、利用者の方の普段の生活に見てとれるほど大きな変化はまだ見られませんが、今後続けていく事で皆さんが穏やかに過ごして頂ければと考えています。

就業支援を通して

障害者就業・生活支援センター中里・就業支援員 金木 隆裕

平成24年に入り、障害者就業・生活支援センター(ナカボツ)は

全国障害福祉圏域362圏域中316カ所まで設置が進み、障害者の就業の促進が進められています。

毎年6月に行われている調査では、民間企業の障害者実雇用率が1.69%であり、法定雇用率1.8%の達成企業割合は5割近くとなっております。この法定雇用率は来年度から2.0%へ引き上げられ、さらに企業は障害者雇用の促進が求められています。

安房圏域を担当している私たちのセンター登録者数は130人を越え、今後もさらに登録を希望される方は増えると思います。

就職活動はハローワークを中心に行いますが障害者求人はほとんど無いのが現状です。多くは一般求人です。その中に登録者が希望する仕事があった場合、センター支援員が企業訪問し、障害者の雇用に向けて検討してほしいとアプ

ローチし、ここから職場実習が始まります。

職場実習は企業・本人共にメリットがあり、企業は障害者の方でも実際に仕事をした時にどれだけ出来るか否かで雇用するかどうかの判断ができますし、また本人にとっても実際に仕事ができるか、職場環境等も含めて本当に就職するか考えていただく時間としても意味のあるものです。

就職したけど短期間で辞めてしまった…この結果となる事がご本人・支援者共に避けたい結果であり、こうならない為の重要な期間が実習という期間なのです。

就職が最終目的ではなく、仕事を継続して自立して生活していくよう、センター支援員は登録者の方々に社会に踏み出す為のきっかけ作りと、社会で生きていく自信を持って頂けるような支援をこれからも続けていきたいと思ひます。



市民音楽祭

支援員 小林 理恵

11月4日に館山市民音楽祭へ利用者の方11名・支援員3名にて参加しました。今年の楽曲は「世界に一つだけの花」を合唱することに決め、当日に向けて皆で練習を重ねました。当日が近づくとつれステージに上がり合唱することを考えると、キドキ…と緊張感が増してきます。

そして、音楽祭当日♪皆の顔にも緊張感が感じられ、落ち着かない様子でした。「いざ!!」ステージに上がり客席の多くの方々の中、ピアノ演奏が始まり会場に歌声が響き渡りました。いつも以上の大きな声で気持ちが一ツになり、一生懸命に最後まで歌えました。

今年も参加させていただき、多くの方々の前で歌うことにより、皆さん自信が持てたようです。

これからも機会をとらえ様々なことに参加して、チャレンジしていきたいと思えます。



障害者スポーツ大会

支援員 小原 美由紀

11月17日に藤原運動公園にて安房地区障がい者スポーツ大会が開催されました。開会式は、聴覚障がいのある方でも分かる様にした手話通訳など配慮され、様々な障がいのある方が競技を通してスポーツを楽しめるように準備されています。私達は、中里の家とワークホームの利用者16名で



▲協力してがんばるぞ!!



▲なに釣ろうかな？

参加をさせていただきました。活気あふれる体育館でタスキとハチマキを付けた皆さんは「頑張るぞ!!」と気合が入った様です。団体競技の「ボールリレー」では、チームで力を合せてスピードを競いましたがタイムインクを合せる事が難しく苦労していました。「玉入れ」も盛り上がった競技の一つですが、一番盛り上がったのは

恒例の「パン食い競争」です。順位よりもパンに向かう姿は真剣そのものでした。障害のある方々がスポーツを通しふれあい、良き交流ができました。



▲よくめがけて!!



中里の家

♪満喫 デイズニーランド♪

支援員 坂本 翠

11月19日～20日に二日別

旅行で東京デイズニーランドとイクスピアリへ行ってきました。

一日目は東京デイズニーランドです。平日でしたがクリスマスシーズンということで混雑していました。昼食をとりながらゆつくりとパレードを見たり、皆さん充分楽しむことができたと思います。二日目はイクスピアリにて映画鑑賞です。シアターの中は他のお客様も少なく、見やすい席で楽しむことができました。普段とは違う食事、部屋、景色など利用者さんにとって良い思い出になったと思います。これからも利用者さんに喜んで頂けるよう、企画し、支援に努めていきたいと思えます。



中里ワークホーム

デイズニーリゾート

支援員 豊崎 千恵

10月26日・12月11日と日帰り旅行へ行ってきました!!

行き先はというと…東京デイズニーリゾート。第一便は女だらけの女性チーム。二便では男だらけの男性チーム。男も女も若者も年配もやっぱりみんな大好きな夢の国と再認識しました。

普段は仕事や作業に追われる毎日を過ごしている為、利用者の方もこの日だけはと、楽しんできました。

帰りの車中では「楽しかったね、また来ようね」そして「早かったね…」と最後の最後まで夢の国の余韻に浸っていました。そしてまた、明日からの忙しい日々に戻っていくのでした。年に一度、仲良しの仲間との旅行で十分に充電してまた明日からがんばるー!!



▲はい、チーズ!



▲ハンバーガーおいしい♡



▲トイ・ストーリーマニアたのしかったね!

中里
ワークホーム

一泊旅行

支援員 小高 夏美

中里ワークホームでは、11月29日・30日にかけて、利用者さんとご家族の方々と共に、山梨県石和方面へ旅行に行ってきました。

当日は、普段中々朝起きれない方も、早起きをし、バスに乗り込みいざ出発。

車中では、カラオケ大会のようににぎやかな話し声で盛り上がっていました。一日目の目的地である、昇仙峡に到着し、周辺などを散策し楽しみ、その後ホテルへ向かいました。

ホテルでの一番の楽しみ宴会ではワークホーム恒例のレクリエーションの始まりです。まずは、すぎちゃん・こすぎちゃんからはじまり、施設長と利用者2名による親分・子分も8年振りに復活をし皆さんを楽しませて下さいました。そしてレク係のバカ殿のコントと抽選会でお開きとなりました。

二日目は、ワイン工場を見学し、試飲もさせて頂き、その後りんご狩りをし、河口湖で自由散策・昼食でした。

最後になりましたが、旅行を無事に行うことができたのも、皆様のご理解とご協力を頂けたからだと思います。あじがっついでございました。



▲すぎちゃん・こすぎちゃん



▲ワイン工場にて



▲おいしいおいしいリンゴだよ〜♪



▲皆で大熱唱♪



▲8年振りの復活!! 親分・子分

中里の家

生活作業班 一日外出について

支援員 山下 和博



▲あと、もう少しだ

11月29日に、生活作業班の一日外出で、利用者さん5名、職員3名で、養老溪谷へ紅葉狩りに出かけました。生活作業班では、季節に合わせて、一日外出を実施しています。
養老溪谷の紅葉もちょうど見頃をおかえており、空気も新鮮です。養老溪谷には、栗又の滝があります。滝に降りる道はとても滑りやすく、利用者さんは2名し



▲季節を感じて

か下の滝に降りることができず、とても残念でした。栗又の滝は、一泊旅行で見学した、袋田の滝よりも規模は小さいのですが、間近で見学することができますので、利用者さんにも楽しんで頂けたと思います。
今後とも外出する機会を多く設けて、利用者さんにとって有意義に過ごして頂けるよう取り組んでいきたく思います。

桜の里

クリスマスの飾りつけ

支援員 鈴木 健一



▲ツリーの飾り付け



▲ちぎり絵で作った「サンタクロース」



◀デコレーション中

8月に開所したばかりの生活介護事業所「桜の里」での活動を紹介します。日曜日から金曜日まで、平日は午前中はウォーキングを中心とした「体育活動」で、午後からはバッテリーキャップ組立てを中心とした「軽作業」とちぎり絵、パズル、お菓子作り等の「創作活動」を行っています。

ちぎり絵では「紙をちぎる人」、「貼る人」とそれぞれ得意な部分を生かして「サンタクロース」の絵を作成しました。なかなかの力作です。桜の里の室内でもクリスマスツリーを始めとするクリスマスデコレーションを行いました。この季節、華やかな環境で活動しています。

中里の家

職員研修に参加して

支援員 木曾直穂子

中里の家では、今年度秋ごろから、利用者支援に携わる支援者にて、千葉県内の同業種の施設を見学させて頂く、職員研修を行いました。

班分けを行い、数人ずつで訪れた先々では、普段ではなかなか知る事のできない内部をゆつくりと説明して下さい、それぞれの施設ごとの特色を知ることが出来ました。中里よりも新しい施設では、その設備がうらやましい面もあり、同じ古さで悩まれている施設での取り組みや工夫がとても参考になりました。

現場が抱える問題には、どちらも共通するところが多く、それぞれでの意見交換を行えた事は、



実践にすぐに生かせる取り組みも沢山あり、とても勉強になりました。

今回の職員研修で、一人ひとりが「中里の良い面・悪い面」を見直す良

いきっかけとなりました。今後の利用者支援の現場にて、少しずつでも生かしていきたいと思

中里の家

法人研修会に参加して

支援員 馬目 佳輔

10月31日、中里ワークホーム多目的ホールで行われました、法人研修会に参加しました。この研

修会は「障害者虐待防止法」の施行を機に、利用者の方への適切な支援や人権擁護について法人職

員として今後どのように取り組んでいくか改めて考えることを目的に開か

れました。当日は職員48人が参加し、8グループに分かれて「なぜ障害福祉施設で虐待が起こるのか」「虐待防止に対する具体的な

取り組み」をテーマに、それぞれ討議しました。まずは何が虐待にあたるのか、自分たちの日々の行動を思い起こしながら、どこにその危険が潜



んでいるかを考えました。そこから虐待を防ぐためにはどうすればいい

のか、様々な意見が交わされ、自分の思いに至らなかったことも多く学ぶことが出来ました。

また、今回の研修会では、虐待について考えるだけでなく、毎日の業務の中で当たり前にしている自分の行動が、利用者の方の最適な支援になっていくかを見直す、いい機会になったと思います。

ボランティアのお知らせ

中里の家・中里ワークホーム・こすもす・桜の里では、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さい、心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問合せ先・連絡先

■中里の家
館山市中里 288-1
☎ 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム
館山市中里 291
☎ 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>

編集後記

新春とはいえず、まだ厳しい寒さが続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。これからも「にじのかけはし」を通じて皆様に心あたたまるとような情報をお伝えしていきたいと思っております。わかりやすく読みやすい編集を心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

(大野)